

みあい養護学校の開校とその方向性



教育随想

愛知県立みあい養護学校校長

青木 廣康 氏

本校は県立安城養護学校の過大化解消による適正規模の確保（本校では小学部・中学部・高等部で三十五学級、百八十人が適性規模）と西三河地区の岡崎市・幸田町に在住する児童生徒の通学時間の短縮を図るため、愛知県農業大学校畜産総合センター美合農場に、平成二十一年四月一日、開校しました。県内十校目の知的障害養護学校となります。現在、小・中・高等部合わせて三十五学級、百八十六人の児童生徒が最新の施設や設備、明るい教室環境の下で元気に学習に取り組んでいます。

開校に当たり、知的障害のある児童生徒の在学十二年間と、その後の将来の在り方から「元氣ある子、根氣ある子、勇氣ある子」という校訓を創りました。児童生徒一人一人の将来に応じた生活自立、社会自立、職業自立を目指し、そのことを教育目標として掲げました。くしくも今



平成22年3月1日

3月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想	1
愛知県立みあい養護学校長 青木 廣康氏	
この人に聞く	2
シンガーソングライター 杉浦 貴之氏	
羅針盤	2
生徒指導（不登校）指導員 中垣 明道	
ふれあい	3
矢作北中 浅岡 啓子	
特集	4
一年のあゆみ	
お知らせ	6
フォト・ヒストリー	8
字伝競走の選手たち （大正5年）	
この本を	8

回の新学習指導要領改訂の大きな柱でもあるキャリア教育を先取りした感があります。

子供たちには、美合という地域の利便性を生かして社会見学や校外学習を多く計画し、公共施設や公共の交通機関を利用した社会経験を積極的に積ませることで、社会性をしっかりと育てていけるよう願っています。また、地域企業や作業所と連携し、協力事業所として生徒の職場体験実習を進め、高等部卒業後の「働く力」を育て、職業自立のできる子供を一人でも多く育てていきたいと願っています。

障がいのある子供たちの特性を認識していただくためには、岡崎市の小・中学校教職員をはじめ地域の方々にも本校に向いてもらい、本校の教職員の指導や子供の活動を直接見ていただくとともに、特別支援教育に関する指導、相談等について遠慮なく問い合わせてください。このことが大切だと思っています。このことが、障がいのある子がそれぞれの地域の一員として、自然に生きていくことのできる社会につながっていくと信じています。

（あおき ひろやす）



ふるさとシリーズ
この人に聞く命はやわじやない
シンガーソングライター

杉浦 貴之 氏

だれにもやっつけてくる「死」。わたしたちがもし、死に直面するような立場に置かれたら、どうなるだろう。死への恐怖から自分の殻に閉じこもってしまうのだろうか、それとも自暴自棄になってしまうのだろうか。杉浦さんは、二十八歳という若さで、がんに侵されてしまった。

「大学を出て、仕事一筋でがんばって、人生もこれから、というときの突然の宣告でした。」

日本でも二十例ほどしかない小児がんの一種の腎臓がんだった。すぐに入院、そして手術。

「早ければ半年の余命、長くても二年と知らされ、働きづめだった自分

を反省しました。死と隣り合わせの生活に、抗がん剤治療。ずいぶんめいりました。」

そのような状態の杉浦さんを見た母親は、主治医に向かって、

「余命宣告なんて信じません。息子を信じます。自分の命に代えてでも貴之を助けます。」

ときっぱりと言った。今まで母親に対し、よい姿を見せようと、無理にでもがんばってきた杉浦さんは、この言葉を聞いて、生きていること、それだけで母親を喜ばせることができる、と実感したそうである。

この一瞬から杉浦さんの生き方が変わった。

「二十八歳では絶対に終われない。自分で作った病気だから、自分で治せるはずと信じました。そのために、がんを克服した体験談を片っ端から読みました。そして、自分にもできると、プラス思考で考えました。」

再発の恐れを感じながらも二か月後には退院した。そして、命があるうちに自分ができることは何かを考



える、自分探しの旅に出た。

二年後には、豊かな自然に魅了され宮崎県に移り住んだ。そして、がんを克服した人に会いに行き始めた。「元気になった人の姿を見ると、自分にも力がみなぎりました。人とのつながりで、僕は元気になれたように感じました。そこで今度は、僕の姿を見せることで、がんで苦しんでいる人が元気になってほしいと考えたのです。『命のおすそわけ』ですね。」

雑誌『メッセンジャー』の編集が始まった。雑誌には大病を克服して、輝いて生きている多くの人が特集されている。まさに幸せ配達人である。知人の勧めで、歌も始めた。

「自分の経験や思いを言葉にしたら、どんな曲ができました。」

トーク&ライブにも挑戦し、現在、小中学校でも多くの講演をしている。がんを宣告されてから十年が経過した。ますます元気な杉浦さんに、今後の目標について聞いてみた。

「がん患者さんとホノルルマラソンに参加したい。家族やかかわる人も巻き込んで、いっしょにがんばろうという姿を見せたい。それから、ハッピーエンドの映画を作りたい。だって、がんで暗いイメージでしょ。」

次々とやりたいことが出てくる。そして、最後にこう締めくくった。「命はやわじやないんです。」

氏名 すぎうら たかゆき
生年月日 昭和四十六年五月二十九日
住所 岡崎市福岡町



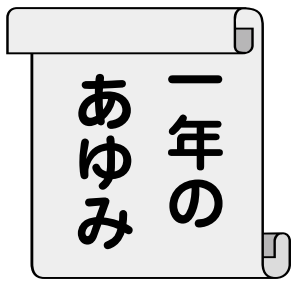
不登校対策この三手

生徒指導（不登校）指導員

中垣 明道

後方の扉から教室へ足を踏み入れたとき、真っ先に目に飛び込んでくるのが背面掲示である。子供たち一人一人が丹誠込めてつくった作品や壁新聞が、担任の先生の温かい朱書きを添えられ、整然と掲示されている。子供の存在感、担任の先生の思いが伝わってくる場面である。その中に、数か所虫が食ったように穴が空いていることがある。長期に欠席している子のための場所だが、いつのまにか見慣れてしまったりする。

しかし、A先生は違った。長期欠席しているB君の場所には、A先生自身が書いたメッセージがさりげなく入れられているのである。「B君の笑顔は最高だよ。またみんなで勉強したり遊んだりできる日を待つて



全国大会出場の大矢作北中男子剣道部



全日本合唱コンクールに出場した南中学校合唱部

7・7・31・28	7・27	7・7・26・21	7・7・20・18・11・7	7・7・5・4・28	6・20	6・17	6・7	5・5・31・23・16	5・5・10・3・29・21	4・19	4・4・18・13・11・1
第47回岡崎市小学校水泳大会(井田小・三島小)	第63回愛知県中学校総合体育大会(8・1)	岡崎市小学校球技大会(24)	第12回愛知県中学校選抜混成競技大会(21)	第29回愛知県小学生相撲選手権大会	第30回東海ブロック大会	第39回親善少年相撲金沢大会	第33回愛知県中学生空手道選手権大会	第8回愛知県中学生空手道選手権大会	第3回愛知県中学生弓道錬成大会	第16回愛知県ヴォーカル・アンサンブルコンテスト	第7回ジュニア打楽器アンサンブルコンクール
男子一年一五〇〇M 男子二年一五〇〇M 女子走幅跳 女子走幅跳	男子団体 男子一年一五〇〇M 男子二年一五〇〇M 女子走幅跳	男子総合・男女総合 優勝 新香山中 優勝 新香山中3・長坂匠 優勝 新香山中3・長坂匠 優勝 新香山中3・長坂匠 優勝 新香山中3・阿部紗弓 優勝 新香山中3・阿部紗弓 優勝 近藤真央・木保舞紀 優勝 近藤真央・木保舞紀 優勝 阿部紗弓・日下部美月	優勝 葵中1・稲葉康太 優勝 葵中2・西山令 優勝 葵中3・浅井真子 優勝 南中2・鈴木康太	優勝 葵中1・稲葉康太 優勝 葵中2・西山令 優勝 葵中3・浅井真子 優勝 南中2・鈴木康太	優勝 葵中1・稲葉康太 優勝 葵中2・西山令 優勝 葵中3・浅井真子 優勝 南中2・鈴木康太	優勝 葵中1・稲葉康太 優勝 葵中2・西山令 優勝 葵中3・浅井真子 優勝 南中2・鈴木康太	優勝 葵中1・稲葉康太 優勝 葵中2・西山令 優勝 葵中3・浅井真子 優勝 南中2・鈴木康太	優勝 葵中1・稲葉康太 優勝 葵中2・西山令 優勝 葵中3・浅井真子 優勝 南中2・鈴木康太	優勝 葵中1・稲葉康太 優勝 葵中2・西山令 優勝 葵中3・浅井真子 優勝 南中2・鈴木康太	優勝 葵中1・稲葉康太 優勝 葵中2・西山令 優勝 葵中3・浅井真子 優勝 南中2・鈴木康太	優勝 葵中1・稲葉康太 優勝 葵中2・西山令 優勝 葵中3・浅井真子 優勝 南中2・鈴木康太
10・6	10・4	10・3	9・9・28・27・23	9・15	9・11	9・8・2・28	8・8・29・23	8・8・21・20・19	8・8・9・7	8・8・6・5	8・7・1・31
第53回全国芸術科学コンクール	第12回全国小中学生女子相撲大会	高岡宮杯第61回全日本中学校英語弁論大会	愛知県教育文化奨励賞	愛知県教育文化奨励賞	愛知県教育文化奨励賞	愛知県教育文化奨励賞	愛知県教育文化奨励賞	愛知県教育文化奨励賞	愛知県教育文化奨励賞	愛知県教育文化奨励賞	愛知県教育文化奨励賞
読書感想文部門	5年生の部	愛知県大会	千両町小	千両町小	千両町小	千両町小	千両町小	千両町小	千両町小	千両町小	千両町小
佳作	三位	最優秀賞	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝	優勝
岩津中3・渡部すめ	六ツ美北中3・佐野真奈香	額田中3・ニコロ角谷祥	六ツ美北中3・佐野真奈香	六ツ美北中3・佐野真奈香	六ツ美北中3・佐野真奈香	六ツ美北中3・佐野真奈香	六ツ美北中3・佐野真奈香	六ツ美北中3・佐野真奈香	六ツ美北中3・佐野真奈香	六ツ美北中3・佐野真奈香	六ツ美北中3・佐野真奈香

平成21年度研究発表校

月日	校名	分野	研究主題	研究概要	研究資料
6月17日	矢作北中(市委嘱)	道徳・特別活動	自他の命を大切に、よりよい人間関係づくりができる生徒の育成ー道徳・特別活動におけるかかわり合いを中心とした授業を通してー	カウンターパート学級、ジグソー学級での学びを生かした道徳と話し合い活動(学級活動)の2時間連続授業を研究の柱とした。そして、モラルジレンマの授業の導入、ロールレタリングの年間単位での実施、命の教育ベースカリキュラムの作成という手立てを基に、命の大切さを理解し行動として具現化できる生徒、高い人間関係形成能力を持った生徒の育成を目指した。	研究物 研究要項 学習指導案集 道徳資料集 研究助言者 上越教育大学教授 林 泰成 先生 六ツ美西部小学校 清水 良隆 先生 竜海中学校 戸澤 剛 先生
6月24日	矢北小(市委嘱)	教育全般	育もう Heart Warming 矢北っ子ーSSTと授業による人間関係づくりをすすめる、いのちの大切さを認識できる子の育成ー	人間関係づくりのあり方を学ばせながら、友達と上手にかかわり合える子どもを育てたいという願いをもった。Q-U検査をすることで学級の子どもを分析し、その結果をもとにSST(ソーシャルスキルトレーニング)と授業を通して、温かい心(Heart Warming)を育もうと考えた。	研究物 研究要項 学習指導案集 分科会助言者 名城大学准教授 曾山 和彦 先生 愛知淑徳大学非常勤講師 前田 勝洋 先生 岡崎市立根石小学校長 松井 伸市 先生 三好町立中部小学校長 田中 信夫 先生 前刈谷市立衣浦小学校教頭 林 知子 先生
10月21日	美合小(市委嘱)	国語	自ら学び、考え、表現する美合っ子の育成ー知識・技能を活用して、思考力・判断力・表現力を高める国語科の学習ー	岡崎市教育委員会から「活用する能力を育成する学習指導」についての研究委嘱を受け、国語科を中心に研究を進めてきた。「目的を持つ」「活用の基盤を作る」「表現・活用する」3段階の「活用力育成単元」を構想し、各段階において教材、言語活動を工夫することで、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、それらを活用して表現する学習に取り組んだ。	研究物 研究紀要 学習指導案 資料集 講師 文部科学省 学力調査官・教育課程調査官 愛知教育大学教授 榊山 敏郎 先生 文教大学教授 中田 敏夫 先生 嶋野 道弘 先生
10月27日	羽根小(全国)	全教科・領域	伝え合い、練り上げる授業ーわくわくするメディアの利用を通してー	情報機器などのメディアの利用を通して、①根っこ力②伝え合う力③練り上げる力の育成をめざした。児童が主体的に情報機器を操作し、「学習の効率化」「効果的な伝達」「考えや情報の共有化」を図った。そして、その中で、児童同士のより深い関わりを促し、自信をもって自分の考えや思いを伝え、また、再構築できる子の育成に取り組んだ。	研究物 研究要項 学習指導案集 研究実践集録 助言者 名古屋大学大学院教授 大谷 尚 先生
10月27日	甲山中(全国)	全教科・領域	思いやりあふれるコミュニケーションを創造する生徒の育成ー情報メディア機器を活用した、互いに学び合う学習を通してー	生徒が協同的に学習や活動を進め、活動内容や生徒の状況に応じて、①情報メディア機器を効果的に使った導入の工夫、②個々のコミュニケーション能力を高める生徒のプレゼンテーション、③学びの深化を図る小グループ編成などを取り入れた。これらを通して、互いに認め合える、「思いやりあふれる」学習を創造していきたいと考え、研究に取り組んだ。	研究物 研究要項 学習指導案集 全体会助言者 名古屋大学大学院准教授 柴田 好章 先生
11月17日	竜海中(自主)	九教科・特支	生徒の学ぶ力を鍛える授業の創造ー3つの学ぶ場面の確立をめざしてー	「わかる学習指導」第9次研究の3年目。生徒の学ぶ力を、「学び取る力」「学び込む力」「学び抜く力」の3つの力ととらえ、毎日の授業の中でこれら3つの力を意識した学習活動を仕組もうと取り組んだ。さらに、3つの学ぶ力を1時間の授業の中ですべて意識した授業展開を工夫することで、生徒の学ぶ力を向上させることができると考え、研究実践を試みた。	研究物 研究紀要 学習指導案集 分科会助言者 牧野守先生(福岡小) 中西 勉先生(矢作東小) 高嶽利行先生(東海中) 児玉洋行先生(葵中) 長坂麻奈美先生(南中) 長谷川勝一先生(竜南中) 小田英宣先生(竜美丘小) 山田義仁先生(岩津中) 伊與田美智代先生(六美中) 田島広嗣先生(矢北小)
11月27日	根石小(自主)	読書活動	ひびく読み声 ふれあう心 いのち輝く読書活動	本に親しむ子を目指して始まった本校の読書活動は、今年度で32年目を迎える。担任による20分間の読み聞かせを基盤にし、子どもとふれあう時間を大切にしている。読み聞かせ技術の向上や子どもの実態に合った本の開拓に努めている。さらにブックトークや続き話作り、エプロンシアターやパネルシアター等、指導法の工夫もしている。全校集会や図書祭も充実させている。	研究物 研究要項 学習指導案集 講演会 前国立国語研究所長 甲斐 睦朗 先生 刊行物 「読書の森～読み聞かせ100選」

書名	出版月	著者・編者
地域との絆が深まる“学校の子ども祭り”	平成21年8月	岡崎市立城南小学校 <明治図書>
読書の森～読み聞かせ100選	平成21年11月	岡崎市立根石小学校
閉校記念誌「ありがとう鳥川小学校」	平成22年3月	鳥川小学校記念式典実行委員会
閉校記念誌「大雨河小136年」	平成22年3月	岡崎市立大雨河小学校 大雨河小学校統合準備委員会
統合記念誌「心のふるさと千万町小学校」	平成22年3月	岡崎市立千万町小学校 千万町小学校総合委員会
若手教師のための教師力をみがくハンドブック	平成22年3月	岡崎市教科指導員会

●平成二十一年度の出版物

平成21年度教育研究論文入賞者

●個人研究の部

最優秀賞

氏名	学校名	教科領域	研究主題
平國 亮子	城南小	国語	確かな読みで楽しく伝え合う子の育成
伊藤 真平	河合中	保健体育	自ら考え、意欲的に運動に取り組む生徒を目指して

優秀賞

太田 好乃	梅園小	国語	物語文の読み取りと、そこから感じる思いを伝える国語科の授業
杉山 有紀	梅園小	国語・美術	思いやこだわりを大切に、つくりだす喜びを味わう子どもをめぐらして
手島 露子	根石小	音楽	音楽と一体になって、心から音楽に浸ることのできる児童の育成
伊藤 美緒	男川小	理科	事象を比較する力と、理科好きな子どもを育てる理科学習
市川 翔子	美合小	国語	相手意識をもち、自ら進んで事実や思いを表現できる子の育成
加納 千世	美合小	国語	国語の知識・技能を活用し、主体的に文学作品と向き合う子の育成
佐橋 百代	緑丘小	生活	対象への気付きから自分自身の気付きへ深める生活科の授業
柴田 泰枝	六名小	生活	自然の不思議さおもしろさを実感する生活科
西山 竜市	連尺小	社会	「調べ見つけた事実をもとに考えを拡げていく子どもの育成」
野々山なお	広幡小	保健体育	仲間とかかわり合い、主体的に活動できる児童の育成
河合 教恵	道徳	道徳	命の大切さを感じ、思いやりの心を育む道徳教育
石川 俊之	福岡小	国語	豊かに感じる心を持ち、いきいきと表現できる子どもの育成
林 俊樹	竜谷小	算数・数学	思考力と表現力を育む算数的活動の実践
杉田 浩史	藤川小	理科	地域教材を活用した実感を伴う理科授業
吉田 靖子	山中小	算数・数学	楽しく確実に学ぶ算数の学習
齋藤由美子	山中小	学校保健	自らの生活を見直し、よりよい生活習慣づくりのできる子
石川 恒彦	本宿小	英語	英語で伝え合うことを楽しみ、英語を学び続けようとする子の育成
船越 学	奏梨小	特別支援教育	自分の気持ちをのびのびと表現できる児童の育成
原田 康司	恵田小	社会	持続可能な社会の実現を目指し、学びを問い合い、自己の責任を考える社会科の授業
山本 純子	細川小	算数・数学	「学ぶ」楽しさと「わかる喜び」を味わう算数の授業
大野 孝輔	細川小	保健体育	自己への気づきと仲間とかかわりから、確かな技能を身に付ける体育学習
草次 真人	矢作北小	特別支援教育	その子らしい自立を目指して
丹下知佐子	矢作西小	生活	人とかかわりながら町への愛着を深め、前向きに活動しようとする子の育成
林 尚子	矢作西小	総合	生命を実感し、生命を大切にしようとする子の育成
岩堀 友美	矢作南小	国語	実感を深めた体験活動を通して、順序立てて表現できる子供の育成
倉橋 重夫	矢作南小	理科	実感を伴った理解を通して理科の有用性を高める学習指導
浅井 英之	六北小	社会	社会事象を「自分ごと」として捉える社会科の授業
山本真規子	六北小	特別活動	自分のために積極的に、楽しく食べることのできる子をめぐらして
田中 紀子	城南小	総合	地域のリサイクルを調べ、進んで3Rを実践できる子を目指して
森下 成樹	小豆坂小	教育全般	豊かで健やかな子供の育成
博多 圭子	美川中	社会	歴史を身近に感じ、関わり合いを通して考える社会科の授業
日置 正敏	南中	社会	生徒の生活に関わり深い事象を基に考えを深める生徒の育成
古家茂枝子	南中	理科	主体的に課題を追究し、自ら学ぶ楽しさを実感できる理科授業
高柳 真弓	南中	技術・家庭	確かな「選択眼」を身に付け、学びを生活につなげることのできる授業を目指して
丹下 義輝	南中	特別活動	話し合い活動を通して、クラスの一員として自覚を持ち、自ら活動できる子の育成
山本 美智	南中	特別支援教育	自信を持って、自分の思いを伝えることのできる生徒の育成
高橋 遼	竜海中	国語	論理的に考え、表現する力を育てる国語科授業
兼松みなわ	竜海中	保健体育	自分と仲間の動きを見つめ、技能を高めあう授業
柳 洋子	城北中	技術・家庭	確かな選択眼を育む授業の構築
鈴木 崇之	東海中	算数・数学	表現する活動を中心にすえ、自ら考える力を高める授業のあり方
近藤 雄介	東海中	音楽	日本の伝統音楽を通して豊かな心を育むことのできる子どもの育成
坂田 裕史	河合中	算数・数学	数学的活動を通して「確かな学力」を身につける授業を目指して
佐野 和彦	常盤中	算数・数学	意欲的に取り組み、数学的な考え方を育てる課題学習
小山 岳彦	六ツ美中	算数・数学	活用力を高め、生き生きと学び続ける生徒の育成
鈴木小百合	矢作北中	英語	英語で伝える喜びを感じることができると生徒の育成を目指して
武井 翔	北中	英語	生き生きと英語を学びあい、伝えあう生徒の育成
山田 和幹	額田中	英語	異文化理解に努め積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする生徒の育成

●共同研究の部

最優秀賞

現職研修部 本郷 一毅	六名小	道徳	学校・家庭・地域が協力して、やさしい心をもつ子を育てる道徳教育
岡崎中学校 家庭科授業研究会 小田喜代美	大門小	技術・家庭	確かな選択眼を育む家庭科の授業

優秀賞

現職研修部 鈴木 久夫	美合小	国語	自ら学び、考え、表現する美合っ子の育成
現職教育部 坂元 干城	矢作北小	教育全般	いのちの教育 育もう！HeartWarming 矢北っ子
現職研修部 天野 幸輔	矢作北中	道徳	自他の命を大切に、よりよい人間関係づくりができる生徒の育成

〈論文入賞者数〉

賞	個人 共同	最優秀	優秀	佳作	合計/応募数
	1	2	3	6/24	
中学校	1	17	36	54/170	
	1	1	1	3/11	
合計	4	50	100	154/490	

佳作

佐々木八津子	梅園小	算数・数学	廣瀬 伸子	城南小	国語・美術
平岩 浩二	梅園小	特別活動	阿路川昌宏	城南小	英語
榎木 弓	梅園小	総合	池田 芳浩	小豆坂小	理科
尾崎貴美子	男川小	道徳	伊達 恭子	小豆坂小	総合
成瀬 美徳	美合小	国語	中野 良彦	北野小	国語
三浦有紀子	美合小	国語	内藤 恵三	北野小	生活
犬塚 健一	緑丘小	理科	嶋田 麻紀	北野小	音楽
鈴木 美佐	緑丘小	図書館	清水 孝治	六西小	理科
榎原 由佳	羽根小	英語	鈴木紀子	豊富小	国語
鶴田 秀幸	三島小	生活	高沢 秀昭	夏山小	総合
吉原 樹	竜美小	社会	石川 佳宏	千万町小	特別支援教育
伊豫田美奈子	竜美小	音楽	大盛 伸也	下山小	国語
杉浦 聡	竜美小	保健体育	加藤 良彦	甲山中	算数・数学
高山 美保	竜美小	保健体育	鈴木 圭太	甲山中	理科
鳥居 実奈	竜美小	学校保健	寛 真由美	甲山中	英語
高橋 尚弘	広幡小	算数・数学	川本 祐二	美川中	学習情報
平岩 大督	井田小	社会	永井 利昌	竜海中	算数・数学
白川 真理	井田小	技術・家庭	難波 晴子	竜海中	算数・数学
豊田彩恵子	福岡小	国語	小川 恵子	竜海中	国語・美術
山本 典弘	福岡小	特別支援教育	青木 佑史	竜海中	保健体育
山中 一己	竜谷小	算数・数学	坂口 友梨	葵中	英語
山本 磨生	藤川小	社会	伊奈久美子	東海中	技術・家庭
高木 理人	本宿小	国語・美術	水越 裕介	東海中	技術・家庭
日下部教子	生平小	書写	早川 哲也	岩津中	社会
久野佳保里	常磐南小	学校保健	杉木 博美	岩津中	技術・家庭
稲垣 圭	常磐小	算数・数学	内田 正信	矢作中	音楽
鈴木 稔雪	常磐小	総合	浅井 真人	矢作中	保健体育
川端由理枝	奥殿小	保健体育	久田 賢作	矢作中	技術・家庭
原 亮輔	細川小	保健体育	福田 忠大	特別活動	
小野田佳子	大樹寺小	国語	安井 文一	六ツ美中	社会
松金 正樹	大樹寺小	算数・数学	小久保 晃	六ツ美中	理科
浅井 有花	大樹寺小	生活	田上 純子	六ツ美中	理科
加藤 幸広	大門小	算数・数学	浅岡 径子	矢作北中	国語
西堀加奈子	大門小	国語・美術	都築 秀次	矢作北中	国語・美術
渡辺 まや	大門小	教育全般	立松 尚美	矢作北中	技術・家庭
浅井美己子	矢作東小	国語	藤原 公子	矢作北中	学校保健
杉山 彩	矢作東小	国語	山田 奈奈	新香山中	国語
前田 康幸	矢作東小	社会	森田 淳一	竜南中	社会
北原理恵子	矢作東小	音楽	石田 有美	竜南中	音楽
山口ひとみ	矢作東小	技術・家庭	中根 優子	北中	国語
山崎 由子	矢作北小	生活	稲吉美菜子	北中	理科
杉田 祥吾	矢作南小	社会	後藤 三奈	北中	音楽
原田 真弓	矢作南小	技術・家庭	伴 巨裕	北中	道徳
渡邊 康平	矢作南小	英語	柴田 和美	北中	生徒指導
清水 和美	矢作南小	生徒指導	新實 弘章	六北中	社会
寺島 真澄	矢作南小	教育全般	高橋 幸太	六北中	算数・数学
足立 麻衣	六北小	図書館	柴田 愛美	六北中	保健体育
丹羽 千恵	六南小	国語・美術	大島由貴子	額田中	保健体育

佳作

現職研修「からだレッスン」 高学年部会 山本 典弘	福岡小	総合
特別支援教育部会 柴田 昌一	大樹寺小	特別支援教育
2年生部会 丹下知佐子	矢作西小	生活
3年数学部 北村 文啓	額田中	算数・数学

お知らせ



●教育最新情報

○ニュートンのリンゴの木

一六六五年、ニュートンが生家の庭にあったリンゴの木から実が落ちるのを見て、万有引力の法則を発見したという逸話は有名である。

日本学士院長柴田雄次博士が一九六四年イギリスからこのリンゴの木の苗木を譲り受け、現在、東京大学大学院理学系研究科附属植物園（小石川植物園）で育てられている。

岡崎市は、新しい教育の柱の一つである「環境教育」の

推進と子供たちの自然や科学に対する豊かな感性を育むために、このリンゴの木を東京大学から直接譲り受

け、既に植樹されている城北中学校を除く市内各中学校へ植樹する計画を進めている。

現在、東京大学から譲り受けた穂木は、長野県の専門業者により接ぎ木され、苗木になりつつある。来年度末には、この苗木が各中学校の校庭に植樹される予定である。

ニュートンが万有引力を発見するきっかけとなった木と同じ遺伝子をもつリンゴの木を前に、子供たちに対して自然や科学について語り、子供たちの夢や科学する心を育てていきたい。



接ぎ木部分 マルバカイドウ（台木）
ニュートンのリンゴの木（穂木）
接ぎ木されたニュートンリンゴの木

○授業に役立つ指導資料集

授業改善委員会と国語、社会、算数・数学、理科、英語の各現職研修委員会が連携し、「授業に役立つ指導資料集」を作成した。新学習指導要領をもとに、実際の授業ですぐに活用できる指導資料として編集し、全六冊にまとめた。

- ・国語「ことばの力を育てる 国語の授業づくり」
- ・社会「基礎学力の確認と定着」〈小学校〉〈中学校〉
- ・算数・数学「習得・活用をめざした算数・数学の授業づくり」
- ・理科「新学習指導要領実践事例集」〈実験・観察のネタ集〉
- ・英語「小中学校 学習指導案集」

〈内容の特長〉

- ・どの教科も、実際の授業を想定し、そのまますぐに授業で活用できる内容を数多く取り入れている。
- ・国語と算数・数学は、本年度の全国学力・学習状況調査の状況を分析し、具体的な

問題をもとに授業改善の方策を示している。小学校六年生や中学校三年生だけでなく、すべての学年に当てはめて授業改善を図りたい。

理科は新たに追加される学習内容を中心に、効果的な実験や観察の方法について、カラー写真を交えながら提示している。また、各学年の年間指導計画も示した。

各学年用として配付した。社会科は小中学校分冊で、小学校では基礎学力評価問題、中学校ではワークシートを掲載している。また、「岡崎の心」の醸成につながる郷土学習のための指導の手引きも掲載している。

英語科は小学校の外国語活動と中学校の英語科授業の指導案を集めている。日々の授業を構想する際の拠り所になる。

「授業に役立つ指導資料集」は、各担任、各教科担当者にそれぞれ配付されている。ぜひ、手元に置いて十分に活用し、子供たちの楽しい学習、学力向上に役立ててほしい。

○教員免許状更新講習

岡崎市教育委員会は、文部科学省より平成二十二年度教員免許状更新講習の認定を受けた。講習対象は岡崎市教員限定とし、実施は八月上旬の、五日間。受講料は無料となっている。募集期間は、四月五日から二十三日まで。

市内で開催するため、受講する先生方の負担も軽減される。また、内容も現場に即した実践的なものを中心に、資質向上に直結するものとする。詳細については、文部科学省のホームページにも掲載されているが、教育委員会からも改めて案内をする。



▲授業に役立つ指導資料集

●表彰

◆平成二十一年度こども音楽コンクール

文部科学大臣奨励賞

城北中学校

◆第八回全国こども科学映像祭

小学生部門

優秀作品賞 竜美丘小学校

佳作 井田小学校

中学生部門

優秀作品賞 竜海中学校

佳作 福岡中学校

◆守ろう大切な音楽をキャンペーン

標語部門

グランプリ

竜南中一年 正木 咲綾

同 本多 菜穂

◆第四十六回全国児童才能開発コンテスト

作文部門

全国都道府県教育長協議会会長賞

矢作南小四年 丹下 裕斗

全国連合小学校長会会長賞

上地小六年 佐藤 萌衣

日本PTA全国協議会会長賞

連尺小六年 三輪紗矢香

◆子ども絵画コンクール

県知事賞

形埜小五年 尾藤 京介

県野外教育センター所長賞

◆第五十五回読書感想文愛知県コンクール

愛知県知事賞

形埜小四年 鈴木 峻也

緑丘小三年 木河 紘平

葵中二年 木村 圭佑

毎日新聞社賞

新香山中三年 小芦 昇子

県学校図書館研究会賞

恵田小一年 前田 拓海

竜美丘小五年 小山内貴哉

矢作北中一年 石倉 結

◆平成二十一年度愛知県読書感想文コンクール

優秀賞

細川小六年 倉橋 美帆※

竜海中二年 夜船 文香※

優良賞

井田小一年 内藤 優※

広幡小四年 片岡 有紗※

常磐中三年 柴田 有貴※

六美西部小三年 和實 翔吾

連尺小一年 加藤由貴奈

井田小四年 今井 翔希

矢北小四年 永吉 里奈

六美西部小六年 石川 瑞紀

六名小四年 横山 夏葵

連尺小六年 坂田 佳佑

甲山中三年 武笠 結天

佳作

山中小二年 生嶋 世菜

広幡小二年 小山 由美

井田小三年 江塚 美羽

美合小三年 澤田 朱里

竜美丘小一年 今井 咲希

六名小六年 富田 紗也

細川小五年 鈴木研志郎

六美西部小五年 後藤茉莉乃

連尺小五年 土屋 峻人

連尺小五年 上 陽子

六美北中二年 村越 彩香

甲山中三年 村吉 光樹

※は全国審査へ

◆愛知県アンサンブルコンテスト

中学の部

打楽器五重奏

金賞 美川中学校※

木管三重奏

金賞 新香山中学校※

金賞 金管八重奏

竜海中学校

※は東海大会へ



▲ 優秀賞 倉橋 美帆 (細川小6)

●ハートピアだより

○新たなスタート

一月四日、竜美北二丁目「岡崎市教育相談センター」で開所式が挙行された。式には、市長様をはじめ、市会議員様、教育委員様、市内小学校の校長先生方等、多くの来賓のご臨席をいただき、新たなスタートをきった。

開所に伴い、上衣文町にあったハートピア岡崎は、当センターへ引越した。

昭和六十年、岡崎市教育委員会が直轄する不登校児童生徒のための適応指導教室としてハートピア岡崎は開設された。以後、二十五年間の長きにわたり、登校支援を行いな

がら子供たちの成長を見守ってきた。しかし、建物の老朽化や耐震問題により、岡崎市教育相談センターへの移転となった。

一月十八日には、新しい通所生を含め二十二名が出席し、ハートピアの三学期始業式を行った。子供たちは、新しい実習室(教室)、寄贈された大

型テレビが設置してある「カルチャールーム」、調理実習や工作などができる「多目的室」、いろいろな運動ができる「プレールーム」などを見てまわり、そのすばらしさに驚いていた。式の後には、早速、卓球を楽しむ姿が見られ、新しいハートピアへ通いたいという気持ちが伝わってきた。

市の中心部に移転し、通所が便利になったこともあり、開所翌日から相談電話や見学に訪れる親子が増えてきた。一月中に通所生も四名増え、毎日二十名前後の子供が通所している。

本年度も残りわずかとなった。通所生が元気を取り戻し、学校で新しい学年を迎えられよう支援している。



・カ
ツ
ト
梅園小
杉山有紀

字伝競走の選手たち (大正5年)

写真提供：矢作北小学校



大正五年ころの写真である。子供たちの体力と気力を高めようと、今という駅伝競走が各学校で盛んに行われていた。

字伝競走と銘打って、それぞれの字の代表が、威信をかけて走りぬいた。小学校は十六、青年会は八つの競走区に区分けしてリレーをした。

何が何でも勝たなければならぬという闘志にあふれ、出発前には卵や砂糖水を飲み、先生に励まされ、最後まで力をふりしほって走った。

現在では、駅伝大会やマラソン大会などに名前を変えて引き継がれている。



* 女性のための修身教授録

- 致知出版社 森 信三他 ¥1,680
- * 十字架 重松 清 ¥1,680
- 講談社
- * かも法則 西田 文郎 ¥1,575
- 現代書林
- * 〈貧乏〉のススメ 齊藤 孝 ¥1,575
- ミシマ社

* 「うつ」は食べ物原因だった

溝口 徹 青春新書 ¥808

人の心は、自分が食べたものからできる。栄養素の不足や血糖調節異常は「うつ」とよく似た症状を示す。著者は、栄養指導により多くの精神疾患を改善してきた。

うつ病は、日々のストレスや食事の乱れに起因し、いまや8人に1人が罹っているといわれる。20代から50代の働き盛りの人に多く、児童の保護者が罹り、児童が不登校になる事例も見られる。教職員のメンタルヘルスの面からも是非一読したい本である。

細川小 佐宗 正義

白い五弁の花をつける一輪草。春先に花を、夏に葉をつけ、あとは地中で過す草花の総称を「スプリング・エフェメラル」という。他に節分草、福寿草、片栗の花などがあり、小柄ながら林床を華やかに彩る。まだ残る寒気の中に顔を出す「春の妖精」に、会いに行きたいものである。

シオ スア

「明日もまた学校に来ていいですか。」卒業式後に走り寄って来たA男。不登校だった彼は、三年生には登校できるようになり、新たな進路も決まっていた。でも、不安を感じていたのだろう。雛鳥が巣立つ瞬間のように、卒業生が力強く歩んでいってくれることを切に願う。

「すべてはあの日から始まったのです。」がんを必ず治すと誓った日から十年。杉浦さんは、市民駅伝にもランナーとして参加した。命がけの選択をし、自らの進むべき道を、今なお極め続けているその姿に、深い感銘を受ける。「生きる」ということに対して、もう一度真摯に見つめ直したい。